

## 小松電機と文化シャツター

高速シート  
シャツター  
技術・販売提携結ぶ

〔広島〕小松電機産業(本社Ⅱ島根県八束郡八雲村東岩坂一八〇、資本金九百五十万円、小松昭夫社長)は、東証一部上場の文化シャツター(本社Ⅱ東京都、資本金二十二億六千四百万円、川田戀(つとむ)社長)と高速シートシャツターについて、技術および販売提携を結んだと発表した。

十一月一日から同製品を、小松電機産業は「門番」文化シャツターは「エア・キーパー」という商品名で発売する。発表に当たっては文化シャツター望月専務・営業本部長が小松電機産業の小松社長と同席「文化シャツターが今後、全国の販売網を使って強力に販売していく」と述べた。

新製品は倉庫や工場の出入口など、製品や資材などの搬入搬出が多く、開閉が繰り返

される個所に適している。さらに高速で開閉することにより、搬入出作業の高能率化のほか、室温熱を外部に逃がさず、屋外のゴミ・ホコリの流入を防ぐなどの効果がある。



業務提携した文化シャツター望月専務(左)と小松電機産業小松社長

開閉は超音波のセンサーにより、速度も高さ四の出入口で八秒間で済む。シート部には、透光性の高い透明防炎PVC(ポリエチレン系)シ

ートを使用、屋外からの採光を妨げず、保温効果、照明費用の削減など、「省エネ性」の強い商品。

文化シャツターは初年度(六十二年四月―六十三年三月)一千二百台の販売計画をたてている。

設計範囲は開口幅最大五五〇〇×高さ最大四一〇〇、設計価格は間口四×高さ三・六の場合、百六十三万二千元(工事費別途)。

文化シャツター望月専務の話 小松さんは開口部に独特のノウハウをもっていたが、納まり部分を当社が一部改良し製品化した。鉄製シャツターとの併設が一番よいと思う。実験の結果、最高連続十万回の連続使用にも耐えられる。また風速十五に耐えることができ、破損の場合も復元が容易にできるといふメリットがある。